

リーディングプロジェクト2

東京スカイツリーを中心に、多数の人々でにぎわう、「国際観光都市すみだ」をめざします

I 目標・方向性

江戸時代から引き継がれた歴史や文化と、東京スカイツリーをはじめとする新しい観光資源がマッチして、内外から注目を浴びる国際観光都市となっています。一方で、本区初となる4年制大学を誘致し、若者を中心とした新たなまちづくりが進んでいます。

II 目標設定の背景

いよいよ平成24年5月に東京スカイツリーが開業となり、これまで以上に数多くの来街者が見込まれています。東京スカイツリーに訪れる観光客に区内を回遊してもらい、江戸時代から引き継がれた歴史や文化、東京の母なる川「隅田川」などの水と緑の魅力なども満喫して「すみだにまた来たい」と思うリピーターを増やすことが、持続的ににぎわいを創出するうえで欠かせません。また、本区がこれまで培ってきた「ものづくり（製造業）」の技術を観光と結びつけ、新たな販路を拡大し、本区の産業活性化を推進することも求められています。

さらに、本区初となる4年制大学の誘致が進んでいます。大学は区内へ若者を呼び込み、地域のにぎわいを創出するとともに、経済・商業の活性化や、産学官連携の推進、区民の生涯学習・文化活動等の促進が期待できます。一方で、多数の来街者が訪れることにより、区民の体感治安の悪化も想定されます。そこで、多様な主体による防犯機能をより一層強化することが求められます。

III 課題解決に向けたプロジェクト

1 東京スカイツリー効果を最大限に活かしたまちづくり

自立式電波塔としては世界一の高さを持つ東京スカイツリーには、内外から多数の来街者が訪れます。この千載一遇のチャンスを効果的に活かし、本区全体の活性化につなげていく必要があります。特に開業後の数年間が重要であり、観光・産業・まちづくり等さまざまな施策を重層的に実施します。

【主な取り組み】

- ・「産業観光プラザ すみだ まち処」整備事業
- ・まち歩き観光推進事業
- ・観光資源開発事業
- ・観光プロモーション推進事業
- ・観光施設等回遊性向上事業（区内循環バスの運行等）



イメージ図

2 すみだ北斎美術館など江戸下町文化を継承したまちづくり

すみだには、江戸時代から引き継がれた歴史と文化という魅力も多数存在しています。特に、本区亀沢が生誕の地であり、世界的な巨匠である葛飾北斎を広く顕彰し、後世に引き継いでいくための施設「すみだ北斎美術館」は、東京スカイツリーに続いて新たな観光スポットとなることが期待されています。その他にも、区内に点在している数々の名所・旧跡をクローズアップすることにより、まち歩き観光や本区の伝統文化の継承に役立てます。

【主な取り組み】

- ・すみだ北斎美術館整備事業
- ・旧安田庭園再整備事業
- ・歴史文化公園整備事業
- ・すみだ地域学セミナー事業



3 水と緑が調和した景観豊かなまちづくり

すみだは、東京の母なる川「隅田川」をはじめとして、川に囲まれたまちです。また、東京スカイツリーの足元の北十間川では、護岸整備にあわせて水辺に親しめる空間を整備するとともに、「さかさツリー」が水辺に映る新たな観光スポットが生まれています。今後は、水辺空間の活用によるにぎわい創出、舟運による観光施策への活用などを進めていきます。また、地球温暖化防止や安らぎの空間創出の観点から緑化の推進や、地域の特性を活かしたまちなみを創出するための取り組みも進めます。

【主な取り組み】

- ・観光資源開発事業（舟運事業）
- ・吾妻橋防災船着場整備事業
- ・公園新設・再整備事業
- ・北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業
- ・すみだ花の道整備事業
- ・新タワー周辺主要道路景観整備事業（電線地中化等）
- ・荒川自然生態園整備事業



4 若者が集う大学を中心としたまちづくり

本区初の4年制大学を誘致し、若者を中心とした新たなまちづくりをはじめます。誘致する大学に対しては、地域産業の活性化や、区民の教育力・防災力の向上、地域との協働・交流、区民の文化的活動の促進、大学の各種施設の積極的な地域開放等を求めています。これらの提案をもとに、大学が有する学術研究や教育力を活用した活力あるまちづくりを進めます。

【主な取り組み】

- ・ 大学誘致推進事業
- ・ 地域の幼・小・中学校との交流
- ・ 大学という新たな防災拠点整備
- ・ 大学の知識を活用した生涯学習・公開講座の実施
- ・ 大学の技術を活用した福祉サービスの提供
- ・ 新たな産学官連携施設の整備



5 ものづくりの魅力を発信するまちづくり

本区は、日本の近代軽工業発祥の地であり、江戸・明治から引き継がれた技術や技能が蓄積され、多種多様な業種の中小企業が集積するものづくりのまちとして発展・成長してきました。現在では、東京スカイツリーの開業を契機に、最終製品づくりに取り組みはじめた中小企業も増えてきています。今後は、付加価値の高い商品を創り出していく支援を行うとともに、海外も含めた販路開拓支援などを行い、本区が培ってきたものづくりの魅力を戦略的に発信していきます。

【主な取り組み】

- ・ 産業振興マスタープラン策定事業
- ・ すみだ地域ブランド戦略推進事業
- ・ 海外販路開拓支援事業
- ・ 3M（小さな博物館・マイスター・工房ショップ創出）運動推進事業



6 多数の来街者が訪れても、安心して暮らせるまちづくり

東京スカイツリー開業後は多数の来街者が訪れることにより、体感治安の悪化が懸念されています。また、大学の開設により多数の学生が通学することに対する不安の声もあります。これらの不安を解消するためにも、関係行政機関の連携はもちろん、地域の防犯力の向上を支援し、地域ぐるみで安心して暮らせるまちづくりを進めます。

【主な取り組み】

- ・ 地域防犯リーダー養成事業
- ・ 防犯カメラの設置・維持助成事業（町会・自治体、商店街等）
- ・ 防犯パトロールカー運営事業

